

メロンパン屋さんが放つ 世にもあま〜い隠し球



それだけでなく甘いメロンパンに、あんこ、アンチ甘味液がのけりせいな組み合わせでも、意外いける味なの不思議

今月の
オレが
甘かった



生あんとは、小豆の皮を剥いて出てくる白い身のこと。一般に思い浮かべるあんこをそのまま使用するわけではない。「あんこ チーズケーキ」283円

「甘い＝マイっす」との自説を唱えるオレ甘隊員の情熱が通じたか（見放されたか）、あんこネタ3連発が実現！で、「まずは専門店っす」と情熱のままだに突入した先で見たこのケーキ。えっと、コレはどう見ても…「はい、チーズケーキです」って兄さん！あんこはどこに行ったのさ！と、スタッフ氏が言うには「小麦粉の代わりに生あんを使っています」。見た目以上にあんこ凝縮、かつ想像しがちな「足し算」の味ではなく、コチラの看板商品だったわけ。「**「一見フツ」のスゴイやつ 見た目以上に詰まっています**

あんびりーバポーその②

正直、移動メロンパン屋ってもう珍しくないわけだ。だからその日も素通りするはずだった…そう、我があんこレーダーが反応するまでは。看板の「あんメロン」なる文字に反応しているのは明白過ぎる事実、見逃すわけにもいきまい。で、疑惑のブツを頼張りながらの事情聴取開始。「いや、アンパンの路面店はないから流行るやろう、って社長が」。安直な発想…でも、そのあま〜い罠に吸い寄せられる人続出、ゆえに売り切れ御免とは、おみそれしやしたぜ社長さん！



写真は阪急東向日駅の踏み切り近くの駐車場にて。毎週水曜日に店内中だが、夕刻以降は売り切れも

●**ボンジュール神戸**
ボンジュールこぼ
■075-381-0233 (京都支部)
※販売場所、営業日時などは下記URLにて
<http://bonjour-kobe.com>



「おそろく京都でも唯一のあんこ専門店」のあんこ専門店。メディアにもしばしば登場する

●**都松庵**
としようあん
■京都市中京区西堀川三条下ル
075-811-9288
●10:00~18:00/日、祝休

あんびりーバポーその①

I am a みやげマニア!!

100年後にも残したい 京都おみやげファイル



「酒かすていら」は5切れで840円。味、香りとともにとっふりと日本酒風味が漂う。某有名洋菓子店の協力で作成。店頭に並んだとたん売り切れることもしばしばとか

■**キンシ正宗堀野記念館**
キンシまさむねはりのきねんかん
京都市中京区堺町通二条上ル亀屋町172
075-223-2072
●11:00~21:00/月休

一度ハマると止められぬ…コレってやっぱりお酒の仕業？

キンシ正宗の「酒かすていら」

マニア的施設にマニア系みやげものアリ、と出かけた先は「キンシ正宗堀野記念館」。言わずと知れた銘酒の記念館だが、売っているのはやはり日本酒だけではなかつた。その正体の名は「酒かすていら」。以前はワンランク上のお値段で「酒ケーキ」なだけが残ったが、あえなく消滅。この逸品に通う人もいますよ。「ハマるとこれ目当てを持ちながら、同記念館と伏見油長さんという酒屋にしか置いていないというわけではア度も拔群。こりゃあ、大人の京みやげにはびつたりかも。

東映撮影所近くで16年 たこ焼き以外もやってマス



たこ焼きは基本10コで350円。あん入り以外も等しく美味



●**名だたこつぽ**
めいだいたこつぽ
■京都市右京区東映撮影所前(東町バス停)下ル
075-881-4864
●15:00~22:00/月、毎月28日休

「役者たちが集うたこ焼き屋に変わりダネあり」と聞きつけ、ソッコーで向かったその店内は、ほお、確かに色紙に埋もれて壁も見えぬほど。と、本来の任務たる「変わりダネ」を探すべくメニューを見ると…チーズ入り、餅入り、カレー入り。でもって、あんこ。おっと、あんこきたっつ！「あんこモノは見つけ次第、食すべし」と我が身に課している者として、即オーダー。そして、紅生姜入りの生地とあんこの意外な相性の良さに、思わずお土産まで所望した次第。

あんびりーバポーその③

Behind the Sun! (2001, ブラジル) WALTER SALLES

「ブラジルの物語」のような映画である。

因習に縛られた家族、同志の絆、約りの歴史、このとき、大分、大分、主人公の物語。

最近、シナリオ No.5の走馬メロ、CMにニコルケロマンと共演したのがこの人!! 注目。

THE Motor Cycle ★
Diaries <2003 英・米>
Directed by WALTER SALLES

家族の後半に、ワタシは、アマゾン川流域のサンパオにあるハンセ病療養所にて、ワタシは、差別と偏見の中、流は、「旅」とともに、その後の2人の生き方に大きな影響を与えていることとなる。

「ボラローサ号」マのバイク、そのエンジンを走らせる……!?

アルベルト・ガラド [ロドリゴ・デ・ラ・セルナ]

ワレスタ・ゲバラ・デ・ラ・セルナ [ガエル・ガレシア・バルティ]

23歳のゲバラは、医学生で、せん見も、革命家になる前の、彼の冒険日記である。

80歳を超えて見方のアルベルトは、家族とともにバイクで暮らしている。アルベルト・ガラド、偉大な生きた。

ドキュメンタリーのように、ゲバラの実際の日記が原作となるロードムービー!!

イラストと文 ハヤシチサコ

Chii